

BUILDING A CASTLE OF SAND (OR BREAKING IT)

— ART FROM AICHI IN —

「砂の城をつくること（あるいは壊すこと）」
— 愛知県立芸術大学のアーティストたち展 —

開催のご案内

- 会期： 2012年1月26日（木）～2月12日（日）
会場： Next Door Gallery（ネクスト・ドア・ギャラリー）
<http://www.nextdoorgallery.co.kr/>
（韓国・ソウル市／122-8 Changseong-dong, Jongno-gu, Seoul 110-034 Korea）
主催： Next Door Gallery、HRD ファインアート
企画： HRD ファインアート
<http://www.hrdfineart.com>
（京都府京都市上京区上御霊壱町 494-1）
- 出展作家： 倉地比沙支、大崎のぶゆき、白河ノリヨリ、栗原亜也子
- 協力： 愛知県立芸術大学

【展覧会概要】

「砂の城をつくること（あるいは壊すこと） Building a Castle of Sand (or Breaking It)」と題して、愛知県立芸術大学に関わりのある現代美術作家の作品を紹介する展覧会を、韓国・ソウルにて開催します。

名古屋市近郊に位置する愛知県立芸術大学は、1966年の設立以来、日本を代表する芸術総合大学のひとつとして重要な役割を果たしてきました。美術の分野では国際的に活躍する多くのアーティストを輩出しています。

今回の展覧会では、愛知県立芸術大学出身の作家、また現在同学にて教員として学生を指導している作家の作品を紹介します。これは、とかく東京発の情報に偏りがちな日本の現代アートの多様な側面を伝える現状報告としての意味を持つとともに、韓国と日本との間に美術を通じた新たな交流や情報交換のチャンネルを開くきっかけとなることも期待するものです。

今回紹介する4人の作家（倉地比沙支、大崎のぶゆき、白河ノリヨリ、栗原亜也子）には、愛知県立芸術大学に関わりがあるということ以外に、その表現における共通項を見ることができます。それは「現実の虚構性・目に見えるものの不確かさ」といった言葉で表すことが

でき、このグループ展のテーマを形成しています。彼らの作品においては、題材やテーマだけでなく、メディア・技法・素材の側面においても、虚実の関係性は重要なキーワードとして意識されています。絵画作品（白河）であれ、あるいは版画（倉地）であれ、あるいは写真や映像作品（栗原、大崎）であれ、視覚芸術には常に「幻像」というラベルがつきまとうことを、これらの作家たちは逆説として巧みに利用しているのです。

表面に現出しているもの、手に触れることのできるものの不確実性や幻影性を、本展では、「砂の城」という言葉に託しています。砂浜につくられた精巧な城を私たちは「城」と呼ぶことに違和感を覚えませんが、それは私たちの知覚や知識、想像力の助けによる認識にすぎません。もちろんそれは本物の城ではなく、あくまでも別の現実を写したコピー、イメージにすぎません。ここでは城を構成するひとつひとつの砂粒こそが「本物」なのですが、私たちは砂粒をこの目で見ることはできても、砂粒を砂の城の「実像」として把握することはないでしょう。

砂の城は、いずれは波に洗われて崩壊し、消滅してしまう運命にあります。私たちを取り巻く現実もまたそのように流動的なものだと言えます。砂の存在に気付いたときには、そこにはすでに城は存在しない。私たちの現実認識とはとりもなおさず、砂の城を築いては壊し、またつくり直す、という終わりのない営みに他ならないのです。

4名の作家たちの作品は、砂の城をつくること（あるいは壊すこと）に含まれる大いなる矛盾と、同時にそこに見出すことのできる世界の豊穡を示唆してくれます。

本展は、アートコンサルティングオフィス HRD FINE ART の企画により、韓国ソウルの Next Door Gallery にて開催いたします。

何卒ご高覧賜り、またご喧伝いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ： HRD FINE ART（エイチアールディー・ファインアート）
〒602-0896 京都府京都市上京区上御霊壱町 494-1
<http://www.hrdfineart.com> / info@hrdfineart.com

【出展作家略歴】

Hisashi Kurachi

倉地 比沙支

1961 名古屋生まれ
1986 愛知県立芸術大学大学院油画専攻修了
現在愛知在住

主な個展

1985 はく善ギャラリー（名古屋）
1988 銀座スルガ台画廊（東京）
1989 伽藍洞ギャラリー（名古屋／1995、98、2000、04、07 年も）
1994 ART BOX ギャラリー（東京）
ギャラリー伸（東京／1996 年も）
1997 トミー画廊（東京）
1998 柴田悦子画廊（東京／2003 年も）
2004 「倉地比沙支の世界」大町歴史民俗資料館（愛知、大町）

主なグループ展

2001 「日本・ハンガリー現代版画 10 の軌跡」ペーチガレリア美術館（ハンガリー）
「VI. International Biennial Győr」Varosi Museum（ハンガリー）
2002 「第 5 回高知国際版画ビエンナーレ」伊野町和紙博物館（高知）
「第 12 回ソウル国際版画ビエンナーレ」（ソウル）
「第 6 回日本・ハンガリー現代版画展」上山田文化会館ホワイエギャラリー（長野、千曲市）
2004 「現代の版画」黒部美術館（富山、黒部市）
2005 「現代版画の潮流展」町田市立国際版画美術館（東京）、松本市立美術館（松本）
2006 「Aichi Silpakorn Exchange Art Exhibition」シルパコーン芸術大学センターギャラリー（バンコク）
2007 「Show me THAIーみてみ☆タイ」東京都現代美術館（東京）
2008 「マキシグラフィカ ファイナル」京都市美術館
2009 「Double Diablerie」ECA アーティスト・イン・レジデンス（エディンバラ）
「愛知・アートの森」堀川ボーリング場跡地、セントレアなど（名古屋）

受賞

1994 日本版画協会 協会賞
1999 ノルウェー国際版画トリエンナーレ賞（ノルウェー／国際グラフィックアートヘブラーセンター）

- 台湾国際版画ビエンナーレ銀賞（台湾／台北美術館）
- 2005 エプソンカラーイメージングアワード 2005 グラフィック部門 エプソン賞
- 2006 クラコウ国際版画トリエンナーレ ワルシャワ芸術アカデミー理事長賞（ポーランド）
- 2007 名古屋市芸術奨励賞
スプリトグラフィックビエンナーレ特別賞（クロアチア）
- 2009 バンコク国際版画トリエンナーレ 特別優秀賞（タイ）

作品収蔵

愛知県立芸術大学芸術資料館
町田市立国際版画美術館
北の谷美術館（千葉）
ティコティン日本美術館（イスラエル、ハイファ）
台北美術館（台湾）
ノルウェートリエンナーレ
黒部市美術館
大口町歴史民俗資料館
ダッカ大学（バングラデシュ）
シルパコーン芸術大学（バンコク）
ワルシャワ芸術アカデミー（ポーランド）
扶桑文化会館（愛知）

Ayako Kurihara

栗原 亜也子

1974 横浜生まれ

1999 愛知県立芸術大学美術学部油画科卒業

現在神奈川在住

主な個展

2006 「Mind Games」 BankART Studio NYK (横浜)

2007 「あたらしい地図」 BankART Studio NYK (横浜)

「Untitled / Ayako Kurihara」 ギャラリーマキ (東京)

2007-08 公開制作「クリハラアヤコ企画準備室」 BankART Studio NYK (横浜)

2009 「fiction/error」 ギャラリーマキ (東京)

公開制作「Mind Games 2009 in 桜荘」 BankART桜荘 (横浜)

2010 公開制作「Mind Games 2010」 BankART Studio NYK (横浜)

「ピクチャーズ」 エドウィン・アール・モレナール アトリエ (横浜)

2011 「Mind Games 2011 : H氏との対話」 Demado Contemporary Art Project (京都)

主なグループ展

1997 「バッタドーフ展 Rolling Library～とどろく！図書館～」 名古屋市立緑図書館
(名古屋)

2007 「CET07 - Central East Tokyo 07」 泰岳ビル (東京)

「Light Room vol.4 山手111番館図書室展」 山手111番館 (横浜)

オープンスタジオ「アトリエがけ+ことりカフェ」アトリエがけ (横須賀)

2008 「Self Portrait」 ギャラリー坂巻 (東京)

「Blue Dot Asia」 Seoul Arts Center (ソウル)

「食と現代美術part4 (横濱芸術のれん街2)」 BankART 1929 Yokohama、伊勢屋
(横浜)

オープンスタジオ「アトリエがけ+ことりカフェ+音」アトリエがけ (横須賀)

コラボレーション／プロジェクト

2011 舞台パフォーマンス「Rose ある女性の一生」のためのビデオ映像

オリエンタル・ダンス・ショー「Love」のためのビデオ映像

パフォーマンス・コラボレーション「Mind Games 2011 vol.2 永井可那子との対話」

Nobuyuki Osaki

大崎のぶゆき

- 1975 大阪生まれ
1998 京都市立芸術大学美術学部美術科版画専攻卒業
2000 京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻（版画）修了
現在愛知在住

主な個展

- 2001 「内と外とその間」 galerie 16（京都）、inart gallery（大阪）
2002 「間の距離」 O ギャラリーeyes（大阪）、O ギャラリーU.Ps（東京）
2003 「皮膚呼吸」大阪府立現代美術センター
「Distance of Interval」 CAI（ハンブルク）
「Between Inside and Outside」 Kunstraum（デュセルドルフ）
2004 「Landscape」 Luce Verde open space（愛媛）
「イメージの皮剥ぎ」 Gallery Jin（東京）
2007 「meltdown on the reality」 Gallery Jin（東京）
2008 「ファンタム」 galerie 16（京都）
「京都芸術センター公募 2008 大崎のぶゆき meltdown」 京都芸術センター
2009 「PHANTOM - water drawing -」 MIKIKO SATO GALLERY（ハンブルク）
2010 「dimension wall」 ギャラリーほそかわ（大阪）
「falls」 yuka contemporary（東京）
「Portraits of mirror」 standing pain cube（名古屋）

主なグループ展

- 1998 「PRINTS-10」 City ギャラリーI.M.（大阪）
「第 50 回京展」京都市美術館
「新世代の版画家たち'98」 ギャラリーココ（京都）
「神戸アートアニュアル 映像考／....」神戸アートビレッジセンター
2001 「Nomart Project - イメージ・オン・イメージ -」ノマルエディションプロジェクトスペース（大阪）
「PRIMARY STATEMENT」 O ギャラリーeyes（大阪）
2002 「ISEA2002 Mediaselect Program - 不死身の空間」名古屋市民ギャラリー矢田（名古屋）
「京都府美術工芸新鋭選抜展」京都府立文化博物館
2004 「版画の力」京都府立文化博物館
2005 「見る私／見られる私—京都市美術館コレクション展」京都市美術館
「Enhanced Organism」CASO（大阪）
2006 「Dream of Dreaming」京都造形芸術大学ギャラリーRAKU（京都）

- 2007 「5-7-5」 Kunsthaus Hamburg (ハンブルク)
「新・公募 Re-Act」 広島市現代美術館
「版という距離」 京都芸術センター
- 2009 「第12回文化庁メディア芸術祭」 国立新美術館 (東京)
「エキゾチックーひかりのまち」 愛知児童総合センター (愛知)
- 2010 「アイチ・ジーン」 愛知県立芸術大学芸術資料館 (愛知)
「揮発する色ー大崎のぶゆき・田中朝子展」 masayoshi suzuki gallery (愛知)
「あいちアートの森」 東陽倉庫テナントビル (名古屋)
- 2011 「Haut. Mythos und Medium」 Kunsthaus Hamburg (ハンブルク)
「TOUGEN 現代作家による桃源郷へのアプローチ」 masayoshi suzuki gallery (愛知)

受賞／助成

- 1996 第21回全国大学版画展 買上賞受賞 (1997、98、99年ともに買上賞)
- 1998 京都市立芸術大学制作展 松原賞受賞
第50回京展 須田賞受賞
- 2000 京都市立芸術大学制作展 同窓会賞受賞
- 2001 京展2001 京都市美術館賞受賞
第16回ホルベインスカラシップ奨学生
- 2002 資生堂 ADSP
- 2003 大阪府芸術家交流事業「ART-EX」
- 2008 京都芸術センター公募2008
- 2009 第12回文化庁メディア芸術祭 審査委員会推薦作品

作品収蔵

- 町田市立国際版画美術館
京都市美術館
京都市立芸術大学資料館
三戸町立版画工房 (旧三戸町立現代版画研究所／青森)
関口美術館 (東京)

Noriyori Shirakawa

白河ノリヨリ

- 1969 東京生まれ
1993 東京芸術大学美術学部湯が専攻卒業
1995 東京芸術大学大学院修士課程修了（油画技法材料研究室）
現在愛知在住

主な個展

- 1996 銀座スルガ台画廊（東京）
1997 銀座清月堂ギャラリー（東京／1998 年も）
2004 伽藍洞ギャラリー（名古屋／2010 年も）
2006 銀座ごらくギャラリー（東京）

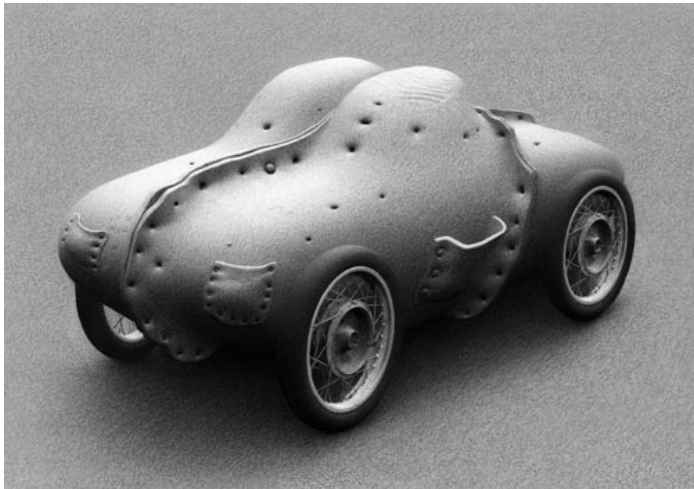
主なグループ展

- 1995 銀座清月堂ギャラリー（東京）
1997 「二人展」新宿全労済ホールギャラリー・スペースゼロ（東京）
2001 「ART FORM OF JAPAN」The Suan Dusit Art Gallery（バンコク）
2002 「三人展」長谷川空間創造会社（東京）
「New Traditional Art」シルパコーン大学アートセンター（バンコク）
「三人展」伽藍洞ギャラリー（名古屋）
2003 「葵の会」銀座スルガ台画廊（東京／2004、05、06、07、08、09 年も）
「FIELD OF NOW 形象改革」銀座洋協アートホール（東京）
2005 「TEN by 展 10×10・小さな宇宙」ギャラリーアルファ（名古屋）他巡回
2006 「CONNECT [Impression on Paper] 一紙上の印象」シルパコーン大学アートセンター
—
2009 「オクターヴ」伽藍洞ギャラリー（名古屋）
2010 「Gold Experience」Hyun Gallery（ソウル）
2011 「JUNINTOIRO」伽藍洞ギャラリー（名古屋）

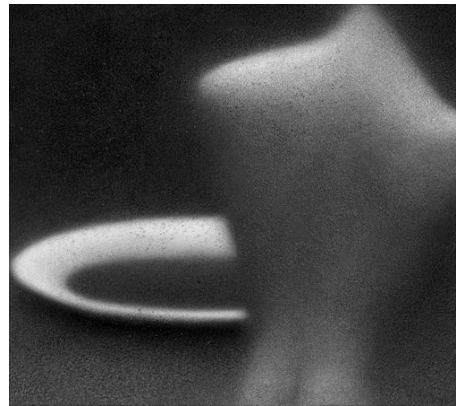
作品収蔵

- 在日本ペルー大使館（東京）

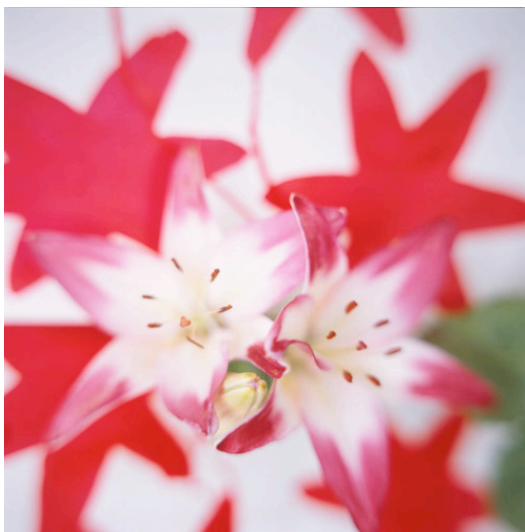
【作品】



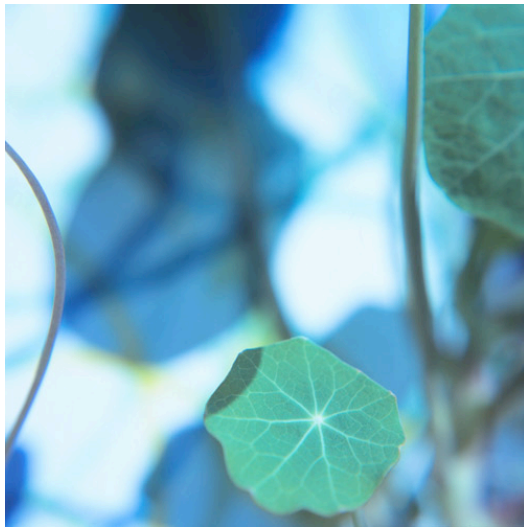
倉地比沙支「new model」
ラムダプリント、アクリルマウント
57.6×109.7cm ed.20 2006



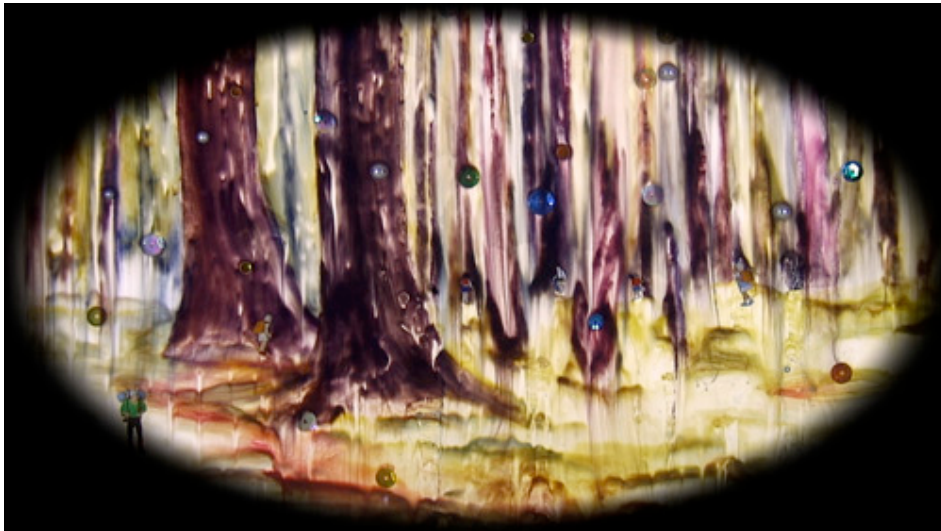
倉地比沙支「behind」
ラムダプリント、アクリルマウント
50×55.8cm ed.25 2011



栗原亜也子「Twin Star 02」
インクジェットプリント、アクリルマウント
40×40cm ed.10 2008



栗原亜也子「powan 6」
インクジェットプリント、アクリルマウント
40×40cm ed.10 2008



大崎のぶゆき 「Shining Forest / Climbing the World」

ビデオスチル

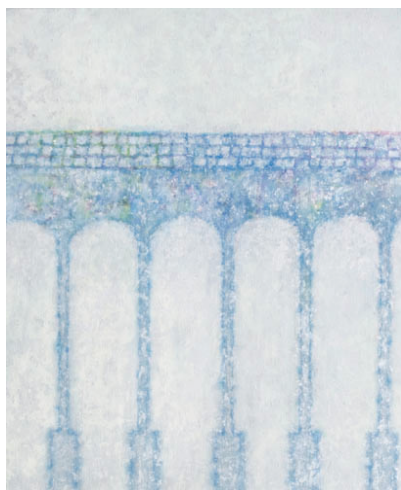
2010



大崎のぶゆき 「dimension wall」

ビデオスチル

2011



白河ノリヨリ 「V-C-Light-2011」

アルミ箔、テンペラ、油彩／

白亜地キャンバス

60.6×50cm 2011



白河ノリヨリ 「V-C-Light-2011」

アルミ箔、テンペラ、油彩／白亜地キャンバス 60.6×50cm 2011